

待っている間に、「名札」と「自己紹介シート」に記入しよう！

ワークショップで呼ばれたい
ニックネームを書こう！

なみすけ



中3
学年

学年

Team
Earth
Hero
すぎなみ

名札から台紙を出して好きな
色のペンで記入しよう！
裏面も記入してね！

自己紹介	
★ 呼ばれたい名前	★ 学年
★ 趣味や部活動・サークルなど	★ このワークショップに参加した理由

Team Earth Hero すぎなみ

～みんなで取り組む気候変動アクション～

DAY1 気候変動の現状や対策について学び、
未来の杉並のまちを思い描いてみよう！

令和8年8月1日（土曜日） 14:00～17:00

お願い：記録・撮影について

- 記録のため、会議の様子を撮影します。
- 参加者が写真撮影・SNS投稿を行う際は、他の参加者「個人」が特定されないように十分注意してください。
- 動画の撮影や録音はご遠慮ください。





ご挨拶

杉並区 環境部 部長

森 令子

はじめに

杉並区温暖化対策担当課長
重田 拓郎

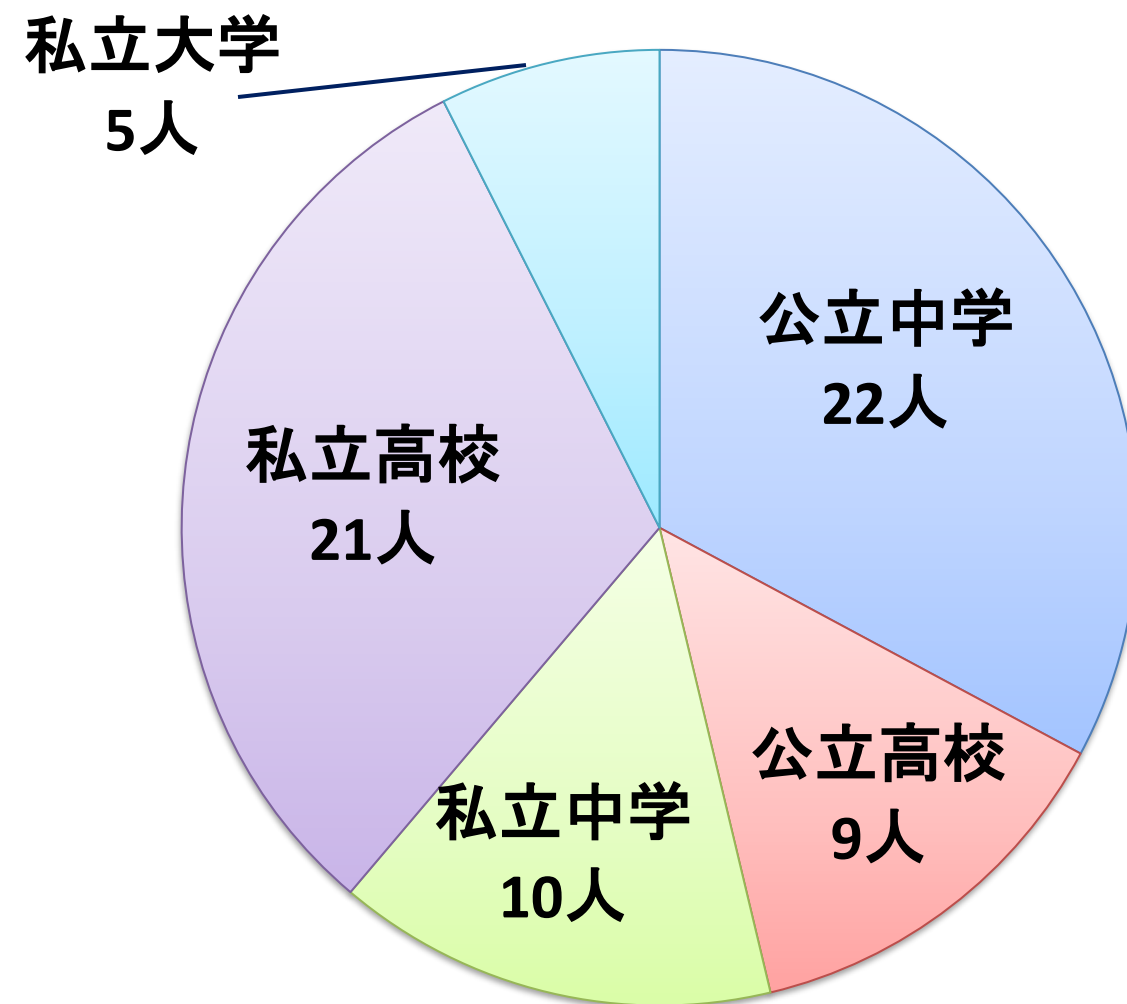
「Team Earth Heroすぎなみ」ワークショップとは

昨年度のワークショップの参加者で決めた名称

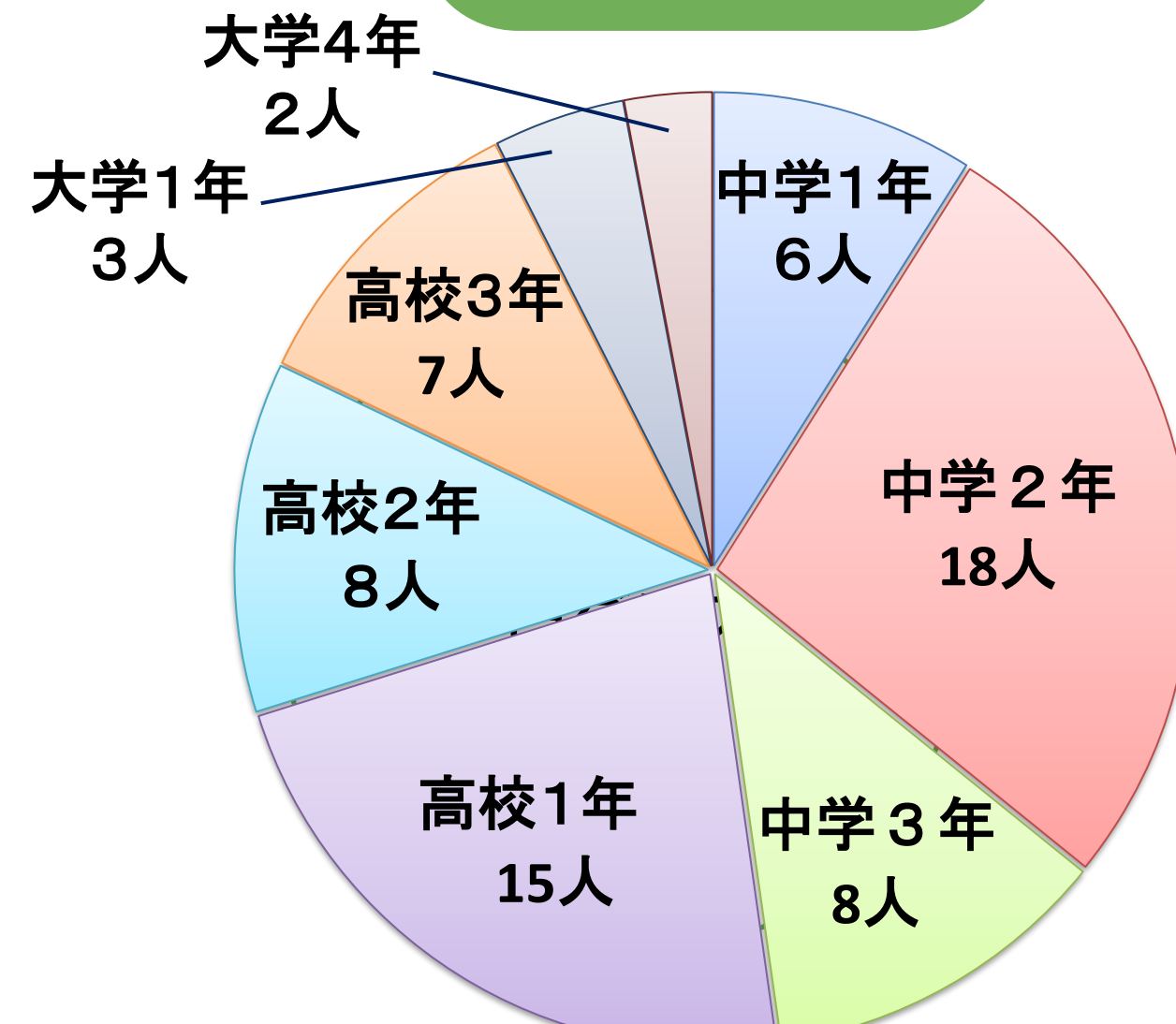
○気候変動対策について学び、考え、話し合う、全3回のプログラム（杉並区主催）

○今年度、区内在住・在学の中学生・高校生・大学生の67名が参加

公立・私立



学年



杉並区ゼロカーボンシティ宣言

杉並区は
2050年ゼロカーボンシティを
目指します

～杉並区ゼロカーボンシティ宣言～

今、世界では、地球温暖化の影響により、干ばつや豪雨、台風などが強大化し、大規模な自然災害が発生しています。また、自然生態系の変化や猛暑による熱中症被害など、温暖化の脅威は決して私たちから遠い世界の話ではなく、一人一人の暮らしや命にかかわる身近な問題となっています。

杉並区は、これまでも、再生可能エネルギーの活用や省エネ対策の推進を図るなど、地球温暖化防止に資する取り組みを進めてきました。また、自然災害等に対応するための防災、減災対策やみどりの保全など、区民の暮らしを守る取り組みを多面的に展開してきました。

一方で、温暖化は急速に進行しており、今後も自然災害の更なる頻発化、激甚化が危惧されています。こうした事態は、もはや「気候変動」ではなく、「気候危機」とも言える事態になっており、これまで以上の取り組みが求められる喫緊の課題となっています。

そこで、杉並区は、令和32年（2050年）までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「2050年ゼロカーボンシティ」を目指すことをここに表明し、区民や事業者の皆様とともに脱炭素社会の実現に向けた取り組みを強力に進めます。

温暖化の進行を食い止め、良質な住宅都市として発展してきた杉並区の環境を将来世代に引き継いでいくため、全力で取り組んでいきます。

杉並区は、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に取り組んでいる。

温暖化の進行を食い止め、良質な住宅都市として発展してきた杉並区の環境を将来世代に引き継いでいくため、全力で取り組んでいきます。

なぜワークショップを実施するの？

① 杉並区気候区民会議

- 令和6年に全6回開催
- 無作為に選ばれた16～79歳の77名が参加
- 気候変動対策について学び・考え・議論

33件の気候変動対策を提案

区民参加の継続！



なぜワークショップを実施するの？

② 将来世代の主体性やリーダーシップを育む機会

- 気候変動の影響を最も受けるのは将来世代
- 脱炭素社会を実現するには社会の変革が必要
- 同世代はもちろん、大人に向けてもリーダーシップや主体性を発揮できる人材が必要



令和7年度に実施した
Team Earth Heroすぎなみ
ワークショップ

このワークショップをきっかけに

気候変動対策を自分事として捉え、
主体的な行動につなげ、
周囲の人たちにも働きかけができる人材に！

本日の ゴールと進め方



今回のワークショップのテーマ

気候変動の対策には、大きく分けて2つのアプローチがあります

主に

昨年度
取り組みました

かんわさく
緩和策

CO₂の削減などを通して
地球環境を改善する対策



今年度は

こちらに
取り組みます!

てきおうさく

適応策

暑さ対策や水害対策などを通して
悪化する地球環境とうまくやっていく対策



暑さ対策



水害対策



生物多様性の保全



今日は、これからますます進んでいく気候変動に対して、
どう備え、どんな街にしていくかをみんなで考えていきましょう!

プログラム

今日

DAY 1

令和8年8月1日(土)
14:00~17:00

気候変動の現状
や対策について
学び、未来の杉
並のまちを思い
描いてみよう！

DAY 2

令和8年8月15日(土)
8:30~11:30

まちをフィールドワー
クして、気候変動の
影響による身近な変
化や課題を見つけよ
う！

DAY 3

令和8年8月29日(土)
14:00~17:00

DAY2で見つけた変化や
課題から、気候変動対
策について自分たちで
できることや社会全体
で取り組む仕組みを考
えよう！

本日のゴール

気候変動の現状と適応策を学ぼう！

**気候変動に適応した、
2050年の杉並の未来を描いてみよう！**

本日の進め方

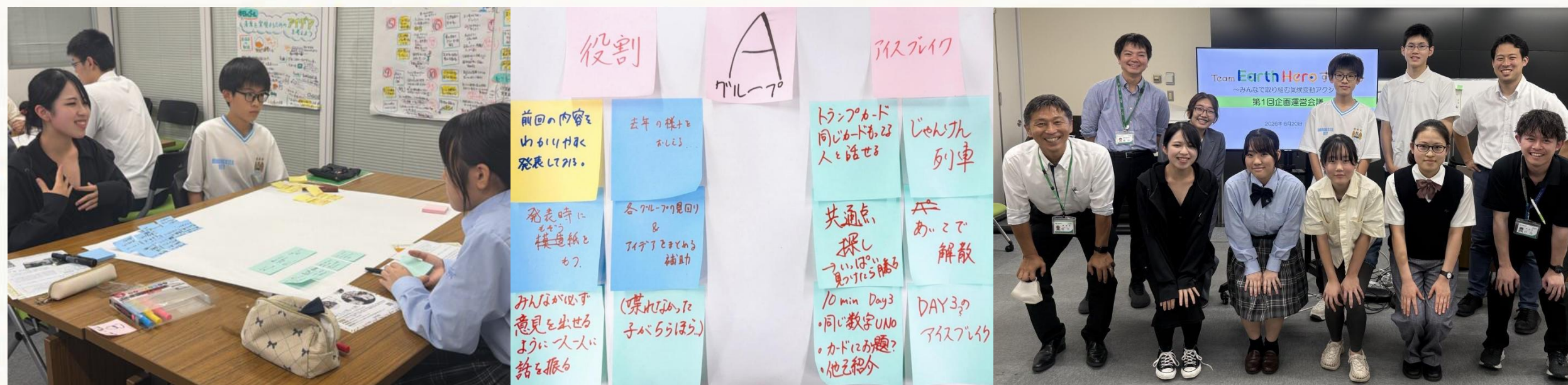
- 14:00 ご挨拶 杉並区環境部長 森 令子
- 14:05 はじめに 杉並区温暖化対策担当課長 重田 拓郎
- 14:10 本日のゴールと進め方 みんなの進路委員会 谷村 一成
- 14:15 企画運営メンバー、テーブルファシリテーターの紹介
- 14:25 自己紹介・アイスブレイク
- 14:50 気候変動対策について専門家から学ぼう(40分)
地球環境戦略研究機関(IGES)研究顧問 甲斐沼 美紀子氏
- 15:30 休憩(10分)
- 15:40 グループワーク(70分)
- 16:30 全体共有(25分)
- 16:55 終わりに・次回の案内(5分)
- 17:00 終了

企画運営メンバーの紹介

昨年度の参加者の中から、**13名**の中高大学生が立候補してくれました！

6月と7月に **計2回**の事前会議を実施！

この3日間のワークショップを、より楽しく、
よりユースが中心になって実施できるよう、
考え、議論し、準備してきました。



企画したこと例

- グラウンドルールの内容
- アイスブレイクの計画
- フィールドワークのポイント
- ゲストに聞きたいこと
意見出し など

各チームで去年も参加した先輩として引っ張ってくれると思いますので、
みなさん **頼っていただけたら** と思います。



テーブルファシリテーターの紹介

各テーブルには、**大学生**や**若手社会人**のテーブルファシリテーターがいます。



このテーブルファシリテーターは、
皆さんが考えたり、議論したり、
意見を言ったりする**サポート**をしてくれます。



困った時や、
どう意見を言ったらいいの**かわからない時**など、



気軽に相談してみてくださいね！



皆さんの「**やってみたい**」を一緒にカタチにしていきましょう！



自己紹介をしよう!



チームのみんなで、お互いのことをもっと知る時間です!
はじめましての人、久しぶりの人も、
改めて自己紹介をしましょう。



自己紹介シートを使います

シートの4つの枠に書いた内容を、
チームのみんなに紹介しましょう!

自己紹介	
★ 呼ばれたい名前	★ 学年
★ 趣味や部活動・サークルなど	★ この夏休みの思い出

この4つについて教えてください!

1 呼ばれたい名前

みんなに呼んでほしい名前を書いてね。



2 学年

今の学年を書いてね。



3 趣味や部活動・サークルなど

好きなことや、がんばっていることを
教えてね。



4 この夏休みの思い出

楽しかったことや、心に残っていることを
教えてね。



書き終わったら、チームのメンバーとシェアして、
お互いのことを知り合いましょう!



私の自己紹介の例

呼ばれたい名前

カズさん



学年

高校3年生+13年



趣味や部活動・サークルなど

野球



このワークショップに参加した理由

みんなで杉並区をもっと良い街にしたい!



プロフィール

谷村一成 (たにむら かずなり)

NPO法人みんなの進路委員会
理事長

グリーンバード杉並チーム
リーダー

すぎなみフェスタ 区民委員

あさがや能・狂言の会
事務局ほか



まずは、メンバー同士で**お互いのことを知る**ことから始めましょう!

各チームで自己紹介をしましょう!



最初に、各チームにいる
大学生や若手社会人のテーブルファシリテーターの方から
スタートして、時計回りにやっていきましょう。

まずは、先ほど書いた
4つのことをもとに、
1人ずつ自己紹介をしましょう!



💡 ポイント

- ✓ 自分のことを、できるだけ具体的に!
- ✓ 相手の話を、しっかり聞こう!
- ✓ 楽しく、リラックスして話そう!

時計回りに!



バースデーラインのルール

≡ 名前のあいうえお順（苗字ではない方）に並びましょう！ ≡

1



あかり いちか けんた そうた

名前のあいうえお順に並ぶ

名前（下の名前）のあいうえお順（苗字ではない方）で、早い人から順番に並びましょう。

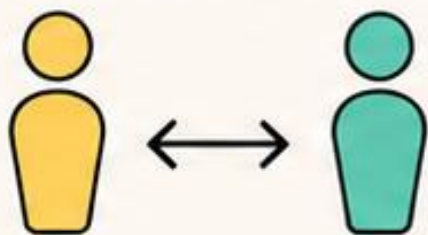
2



話さずに並ぶ

会話はせず、身振りやジェスチャーで名前の順番を伝え合いましょう。

3



自分の位置を調整する

まわりの人と相談せず、自分の考えで前後に動いて調整しましょう。

4



並び終わったら、確認！

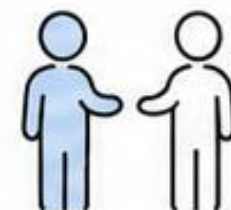
全員が正しい順番になっているか、名前を言い合って確認しましょう。

進め方の流れ



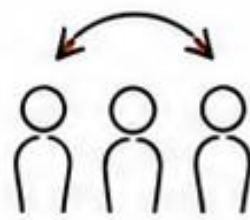
1 ルールの確認

ルールを理解しましょう。



2 並び始める（無言）

名前のあいうえお順（苗字ではない方）に並ぶように、身振りやジェスチャーで伝え合いましょう。



3 位置を調整する

正しい順番になるまで、自分の考えで動きましょう。



4 確認して完了！

名前を言い合って、正しい順番か確認しましょう。

ポイント

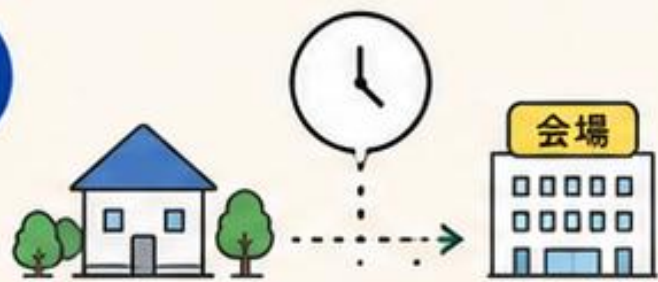
- 正解はひとつ！でも、工夫しながら協力して並ぶことが大切です。
- 楽しみながら、お互いのことを知るきっかけにしましょう！



バースデーラインのルール

家から会場までの所要時間が短い人から順番に並びましょう！

1



所要時間が短い人から順に並ぶ

家を出てから会場に着くまでの時間（所要時間）が短い人から順番に並びましょう。

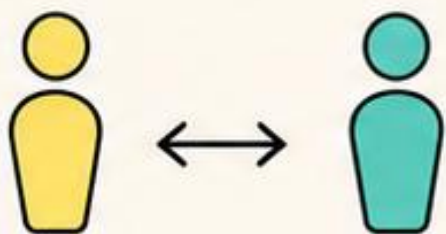
2



話さずに並ぶ

会話はせず、身振りやジェスチャーで所要時間を伝え合ひましょう。

3



自分の位置を調整する

まわりの人と相談せず、自分の考えで前後に動いて調整しましょう。

4



並び終わったら、確認！

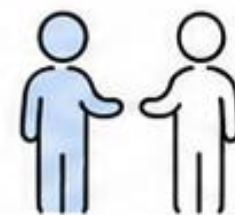
全員が正しい順番になっているか、所要時間を言い合ひて確認しましょう。

進め方の流れ



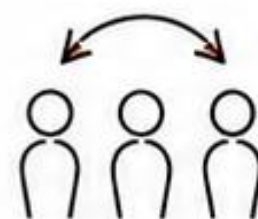
1 ルールの確認

ルールを理解しましょう。



2 並び始める（無言）

所要時間が短い人から順に並ぶように、身振りやジェスチャーで伝え合ひましょう。



3 位置を調整する

正しい順番になるまで、自分の考えで動きましょう。



4 確認して完了！

家から会場までの所要時間を言い合ひて、正しい順番か確認しましょう。

ポイント

- 正解はひとつ！でも、工夫しながら協力して並ぶことが大切です。
- 楽しみながら、お互いのことを知るきっかけにしましょう！



▶気候変動の現状や適応策について
専門家から学ぼう

「猛暑や水害、生きものの危機にどう向き合う？」
—私たちの地域でできることを考える—

地球環境戦略研究機関(IGES)研究顧問

甲斐沼 美紀子氏

ユース世代を対象とした気候変動に関するワークショップ
ゼロカーボンシティの実現へ向けて

猛暑や水害、生きものの危機にどう向き合う？ —私たちの地域でできることを考える—

甲斐沼 美紀子

地球環境戦略研究機関 研究顧問

2026年8月1日

(於) 杉並区役所

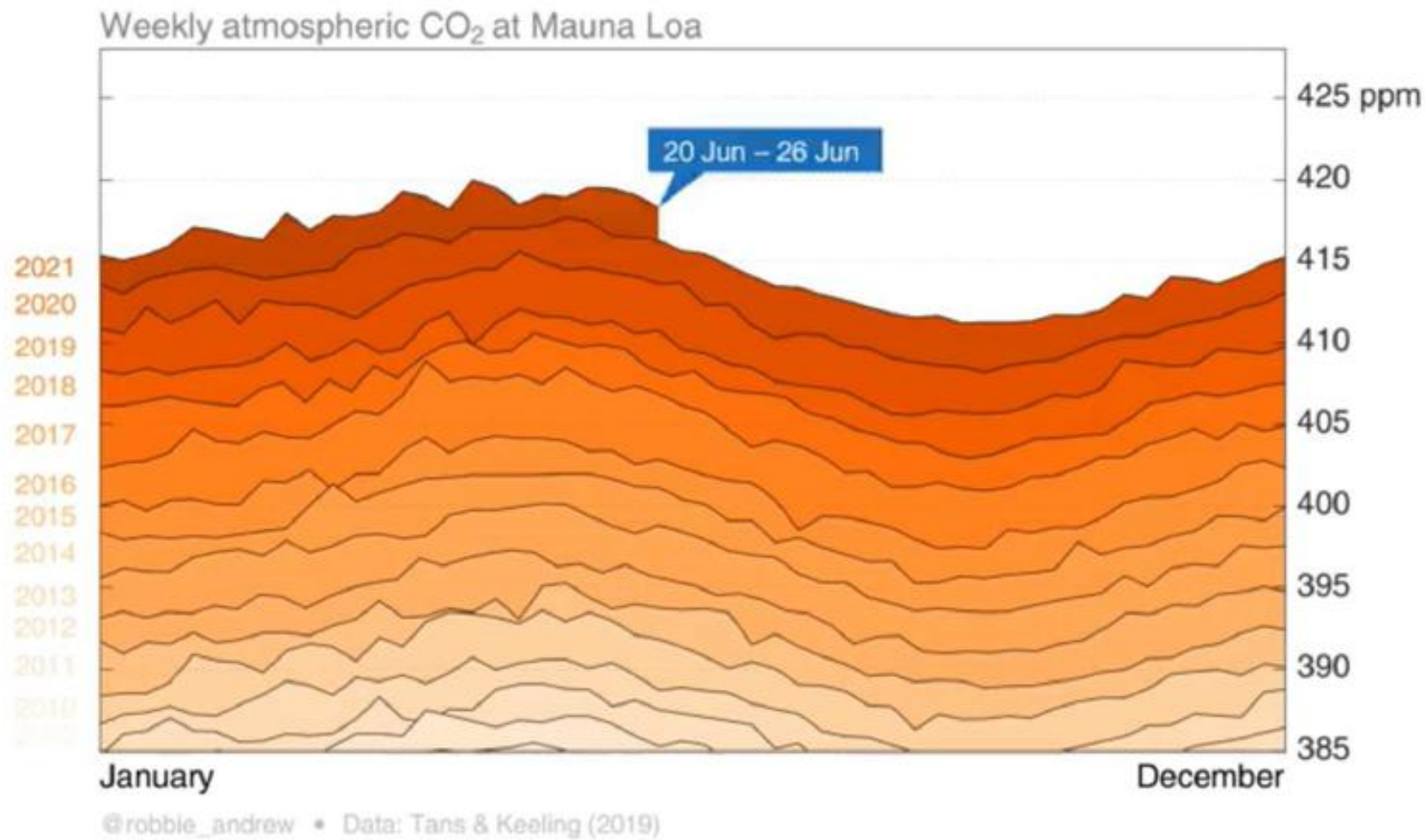
皆さんと一緒に考えたいこと

- 私たちが温室効果ガスを排出し続けているために何が起こっているのでしょうか？
- 2003年の熱波では、ヨーロッパで約1万5,000人の方が亡くなりました。では、パリでは、50°Cの暑さに備えて、どのようなまちづくりが進められているのでしょうか？
- 熱中症や水害から身を守り、自然を守るために、杉並区ではどのような取組ができるのでしょうか？

大気中のCO₂濃度は季節ごとに変化しながら年々増加している

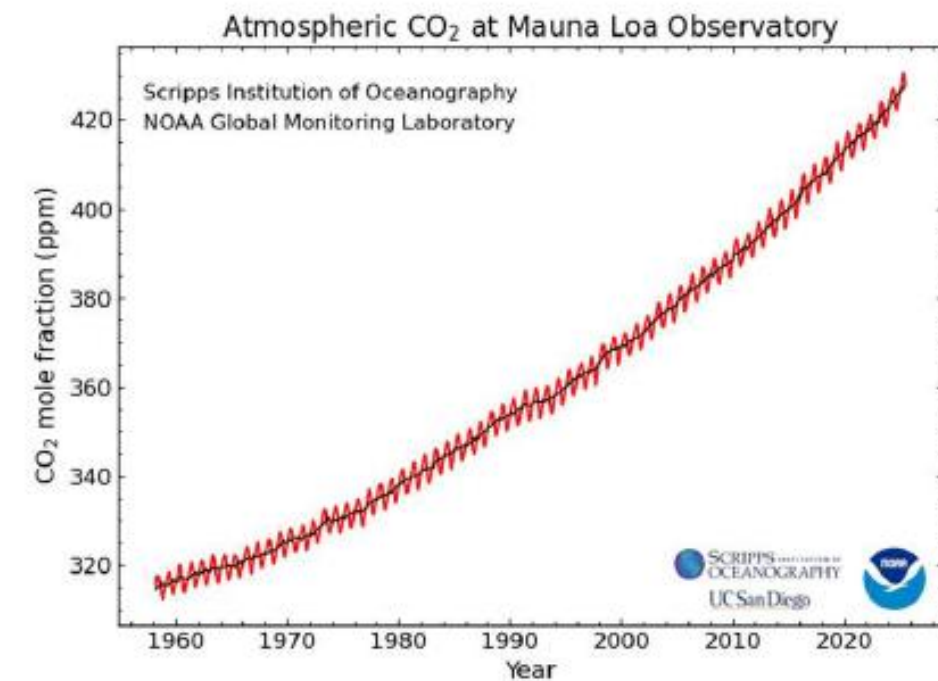
ハワイ・マウナロアでの観測値

季節変化



出典: http://folk.uio.no/roberan/t/i/MLO_weekly.mp4

経年変化



出典: <https://gml.noaa.gov/ccgg/trends/>

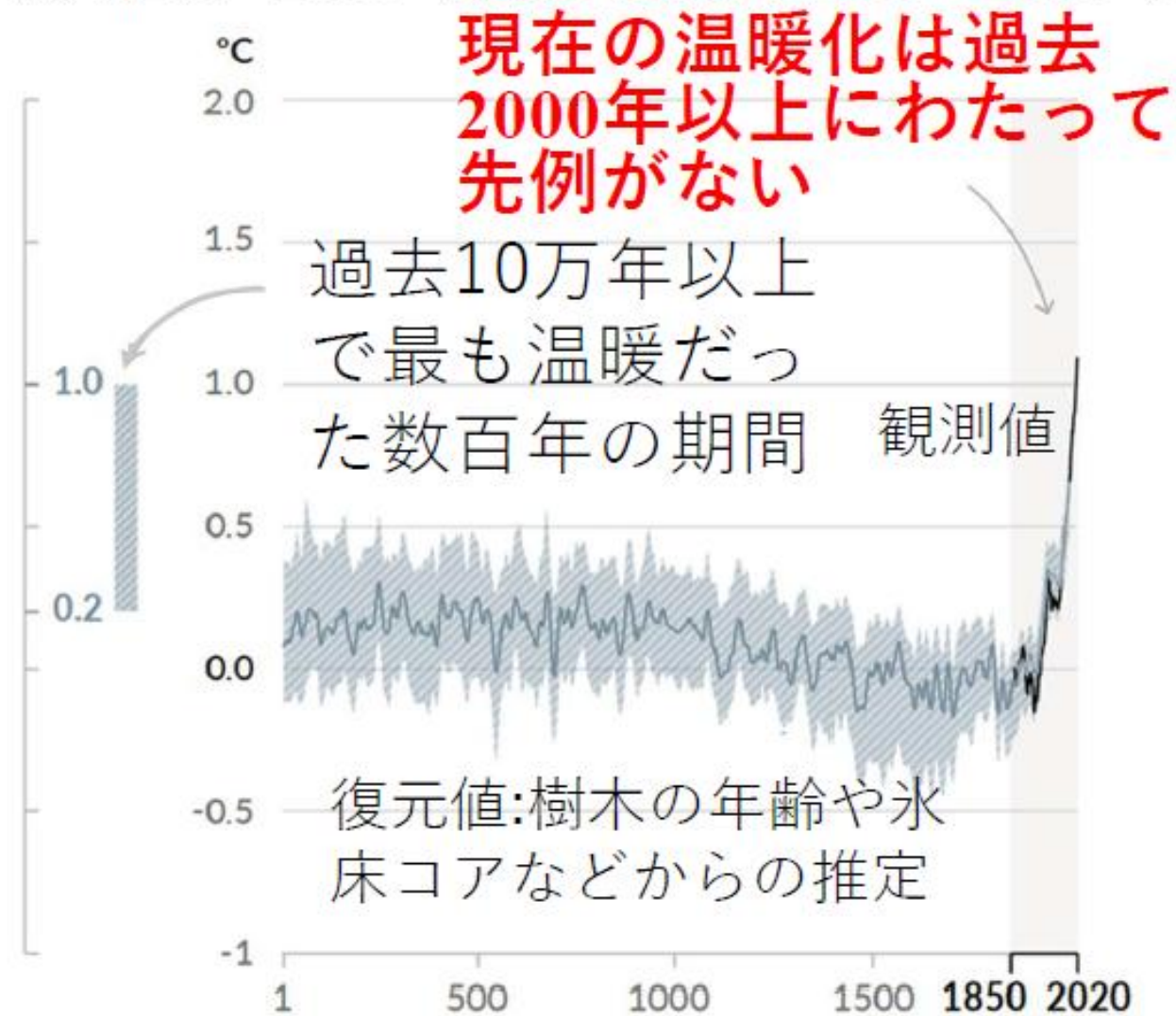
- 工業化(1750年)以前のCO₂濃度は278ppm。2025年5月431.25ppmを観測

参考資料: <https://history.aip.org/climate/index.htm> 33

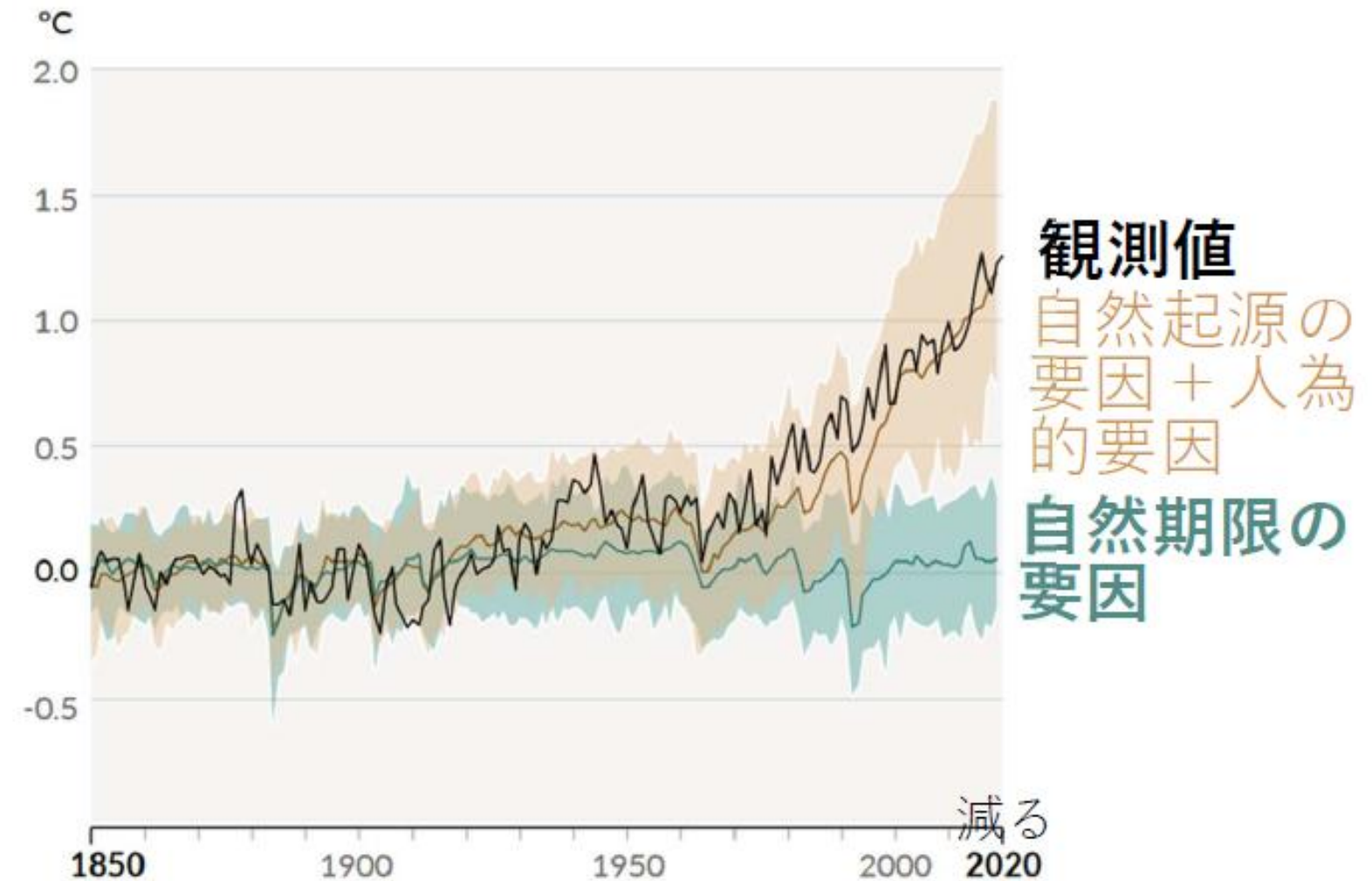
人間の活動が地球の気温上昇の主な原因であることは「疑う余地がない」

1850～1990年を基準とした地球表面温度の変化（2020年まで）

a) 世界平均気温（10年平均）の変化
復元値（1～2000年）及び観測値（1850～2020年）



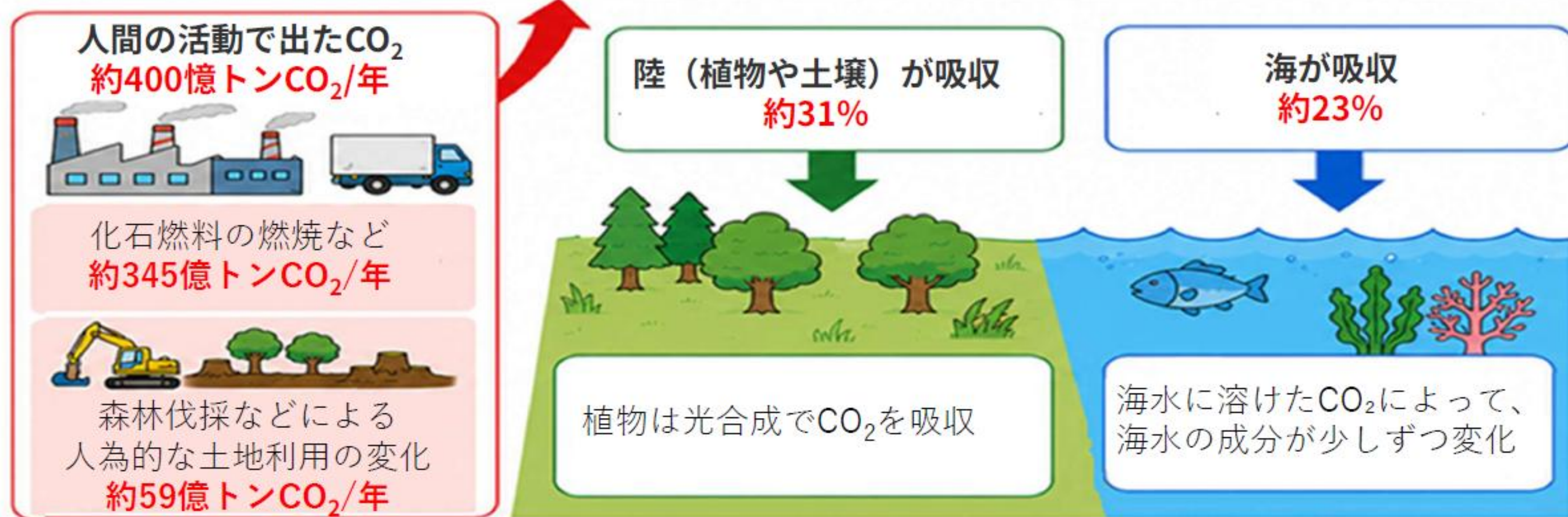
b) 観測値と、人為起源と自然起源の要因又は自然起源の要因のみを考慮してシミュレーションされた地球表面温度（年平均）の変化（いずれも1850年～2020年）



出典: 気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第6次評価報告書 第一作業部会（自然科学的根拠）政策決定者向け要約（Summary for Policy Makers）図 SPM.1

人間活動により排出されたCO₂の行き先（2010年代のデータ）

大気中に残る（約46%） = 温度が上がる原因に

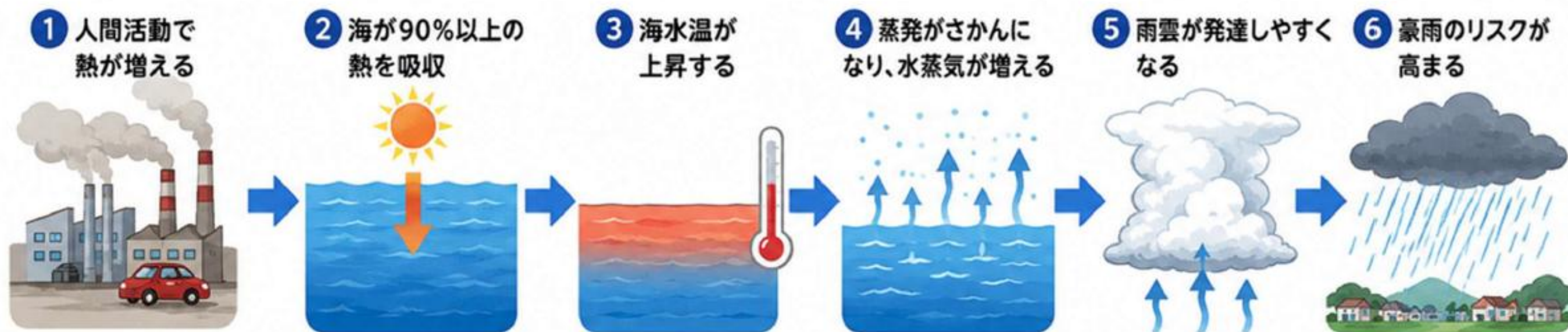


海の中で何が起きているの？

CO₂が海水に溶けると、水素イオン(H⁺)が増えます。水素イオンが炭酸イオン(CO₃²⁻)と結びつき重炭酸イオンとなるため、炭酸イオンが減ります。その結果、殻や骨格の材料である炭酸カルシウム(CaCO₃)が作られにくくなり、プランクトン、サンゴ、ウニや貝類などに影響が出ます。



海は熱をため込むことで、水蒸気を増やし、豪雨が起こりやすくなります



石油や石炭を燃やすなどの人間活動によって、地球に熱がたまる

増えた熱の90%以上を海が吸収して、蓄える

海にため込まれた熱で、海水の温度が上がる

暖かい海からは、たくさんの水が蒸発して、水蒸気が増える

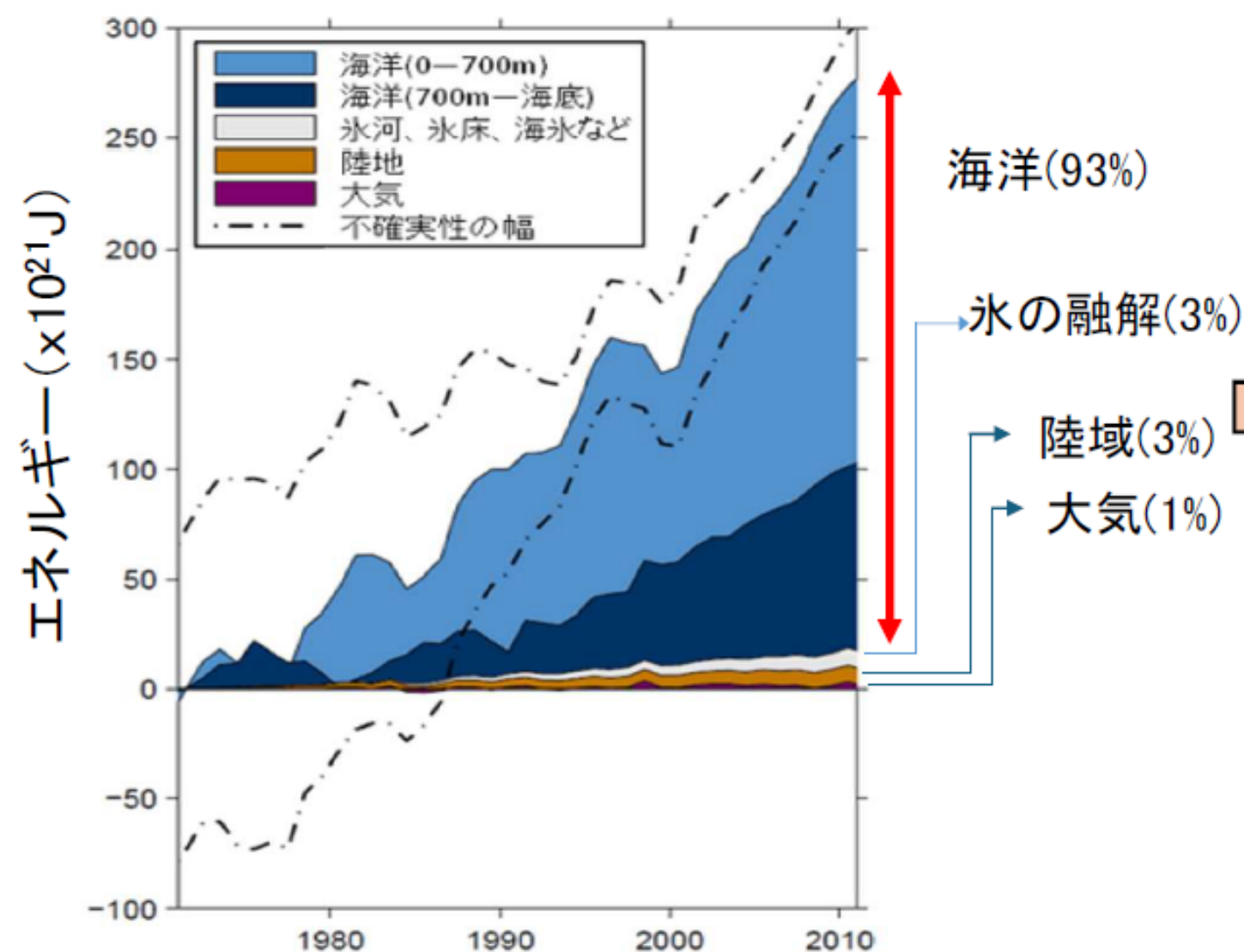
水蒸気が多いと、雨雲が発達しやすくなる

強く激しい雨が降る回数や量が増え、洪水や土砂災害のリスクが高まる

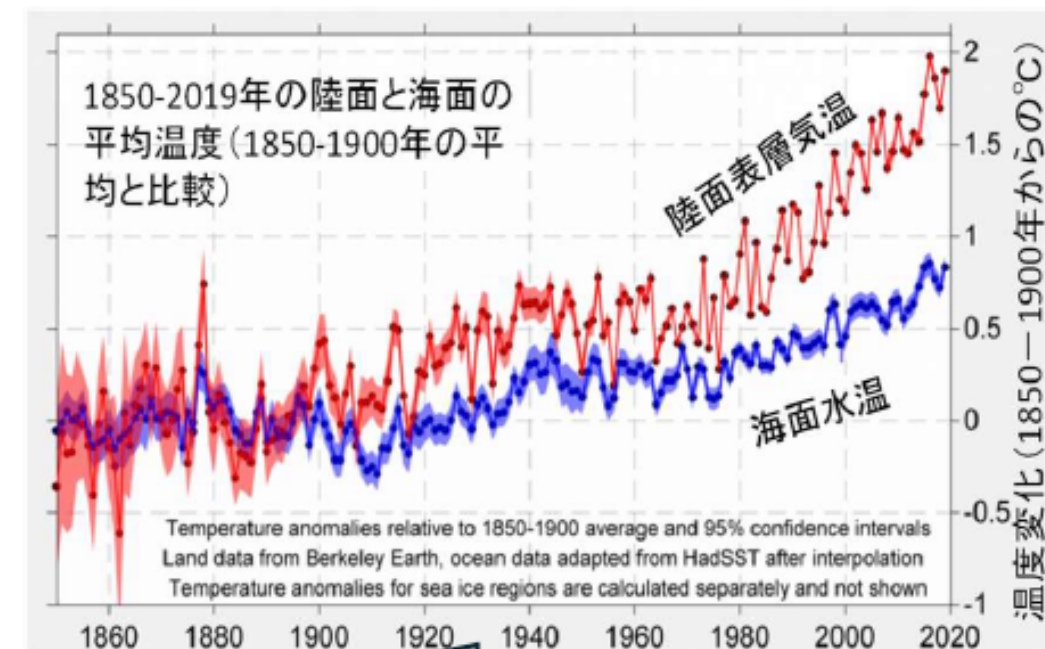
人間が出した温室効果ガスが原因で増えた熱の 90%以上が海に蓄えられています

水温変化は気温変化より遅れて現れますが、海洋に蓄えられた熱の影響は長く深刻に続きます

地球システムにおけるエネルギー変化量



出典：気候変動に関する政府間パネル(IPCC) 第5次評価報告書 第一作業部会Climate Change 2013. Box3.1 図 1



陸の気温の上昇が海面水温の上昇より大きい一因は、海洋の大きな熱容量にあります。海は熱を蓄える能力が大きいため、同じだけ熱を受け取っても陸に比べて温度が上がりにくいのです。海洋上層(0~700 m)だけでも、大気全体の約200倍の熱容量をもちます。

出典：Global Temperature Report for 2019. ⁷
<https://berkeleyearth.org/2019-temperatures/>

自己紹介

- **京都大学工学部数理工学科（現、情報学科 数理工学コース）を1973年に卒業**
1977年に国立環境研究所に就職（当時国立公害研究所）。1990年に公害以外の研究も扱うようになり、研究所の名前も変更されました。
- **1990年に温暖化研究の開始**
当時、アジアからの温室効果ガス排出量はまだ少なかったものの、今後大きく増加すると予想されていました。そこで、アジア地域の温暖化対策を検討するため、アジア太平洋統合評価モデル（Asia-Pacific Integrated Model：AIM）の開発を始めました。以来、温暖化の緩和策と適応策を統合的に評価してきました。
- **2004年にCO2排出量を70%削減しようというプロジェクトを開始**
当時は「誰も30年前の生活に戻りたいと思わない」とか、「70%削減などとバカなことをいう人がいる」などと言われました。
- **2009年に低炭素社会研究ネットワークを開始。**
その後、脱炭素社会実現のための研究ネットワークとなりました。
IDDRI（フランス）、**CIREN**（フランス）、UKERC（イギリス）、ENEA（イタリア）、WI & カッセル大学（ドイツ）を中心に脱炭素研究を推進。IDDRIは国の温暖化対策やガバナンスを分析し、政策提言を行うシンクタンク、CIRENは需要側のCO₂削減や充足性を研究し、持続可能な社会への移行を探る研究機関
- **気候変動に関する政府間パネル（IPCC）に参加**
IPCC第4次評価報告書、第5次評価報告書、1.5°C特別報告書の執筆に関与。1.5°C特別報告書では1.5°Cを実現するための道筋などを検討

なぜパリ市は気候変動対策に熱心なのか

- **2003年の欧州熱波による甚大な被害**
2003年の欧州熱波ではフランス全体で約1万5千人が死亡し、パリでも多数の犠牲者が発生した。この出来事は市民や行政に大きな衝撃を与え、気候変動を公衆衛生上の重大なリスクとして認識する契機となった。
- **熱波に脆弱な都市構造**
パリは寒冷～温帯気候を前提として形成された都市であり、石造建築の集積や高密度な市街地構造などにより熱が蓄積しやすい。冷房設備の普及率も低く、熱波への適応能力が十分ではなかった。
- **内陸都市特有の気候条件**
パリは内陸に位置し、沿岸都市のような海風による冷却効果を受けにくい。近年は40℃を超える猛暑が発生しており、気候変動による熱波の影響が深刻化している。
- **都市政策による対応余地が大きい**
緑地拡大、道路空間の再配分、自転車利用促進、建築物の断熱改修など、市の権限で実施可能な対策が多く存在する。そのため、気候変動対策を都市政策と一体的に推進しやすい環境にある。
- **都市改造を通じて市民生活の質を向上できる**
気候変動対策は単なる温室効果ガス削減にとどまらず、大気汚染の改善、健康増進、快適な公共空間の創出など、市民生活の質（Quality of Life）の向上にもつながる。このため、市民の支持を得ながら都市改造を進めやすい。

「50℃のパリ」プロジェクトの報告書

この報告書は、普通の行政報告書とは違い、小説のような序章から始まります。

7月30日 午前11時30分。年は定かではない。パリは、まさに50℃の猛暑に包まれようとしている。街には、人々の声も、車の音も、遠くのざわめきもほとんど聞こえない。避難できる人々はすでに街を離れ、残されたのは、避難する手段を持たない人々や、それでもなお街にとどまる人々である。

この物語は、未来を予言するものではありません。「もしパリが50℃になったら何が起こるのか」を具体的に想像し、今から備えるために描かれたシナリオです。

つまり、このプロジェクトは「50℃になる」と予測しているのではなく、「50℃になっても人の命を守れる都市をつくるには、今から何をすべきか」を考えるためのプロジェクトです。

このプロジェクトを主導したフロレンティン氏（元パリ市議）は、当初、将来の気候変動対策を提案しましたが、「遠い未来の話で現実感がない」と受け止められ、十分な共感を得られませんでした。そこで、特定の年を示さず、「近い将来に50℃に達するかもしれない」という物語から議論を始めました。そして、パリ市議会で全会一致の賛成を得て、「50℃のパリ」プロジェクトが始まりました。

「50℃のパリ」プロジェクト

プロジェクトの主な活動

1. 暑さ・熱中症から人を守る：オアシス学校、街路樹・日陰、給水所・噴水、建物の断熱・日よけなど
2. 大雨・水害に備える：雨水をためる、アスファルトを減らす、雨庭・透水性舗装、公園を貯留空間として活用など
3. 生物多様性を守る：緑地の拡大、生態系ネットワーク（公園や川、街路樹、緑地などをつなげて、動植物が移動しながら生息できる環境をつくる）、在来植物の活用、鳥や昆虫の生息環境の保全
4. 50℃を想定した都市訓練：行政・医療・交通・学校などが参加、50℃になった場合の対応をシミュレーション、対策が実際に機能するかを検証
5. 50℃を再現する展示車両を製作し、市民にその暑さを体感してもらう。

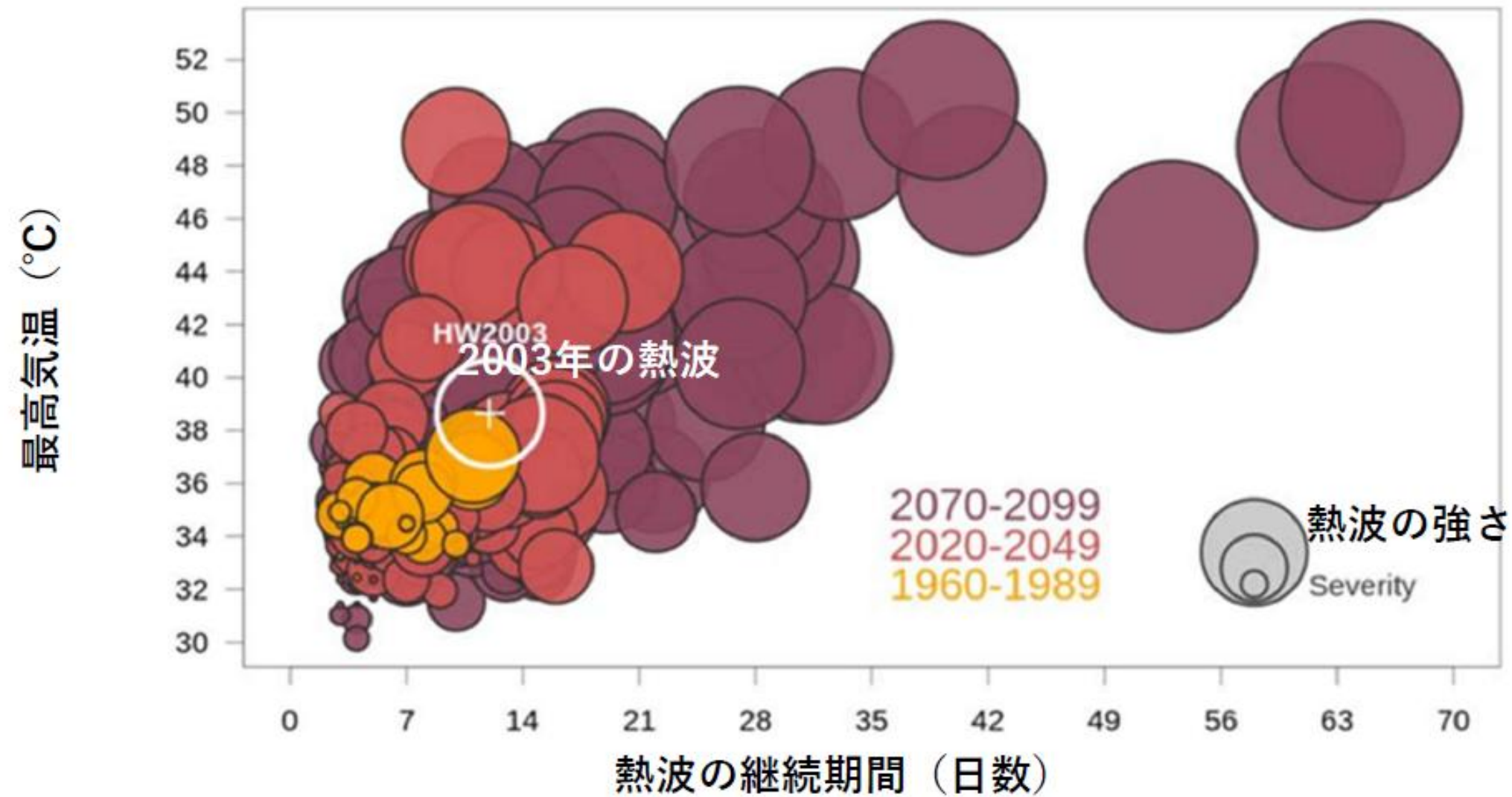
40℃と50℃の時に生じる影響の主な違い

影響項目	40℃	50℃
健康	熱中症が急増	屋外活動が極めて危険、生命に関わる
エアコン ^{*1}	使用増加	能力低下・停電リスク増加
携帯電話 ^{*2}	高温警告が出ることもある	自動停止・故障リスクが高まる
交通	レール・道路の変形が発生することがある	交通機関の運休・道路損傷が増える
電力	需要増加	需要急増・停電リスク
経済活動	屋外作業の制限	日中の活動停止、生産性大幅低下
豪雨・水害	集中豪雨・浸水被害が増える	豪雨の激甚化、大規模な洪水・土砂災害が頻発
自然環境	生態系・農作物への影響	生態系の大きな損失、森林火災、食料生産への深刻な被害

* 1 : エアコンの室外機側の吸い込み空気温度43℃で1時間運転して異常がないことを確認（JIS規格）

* 2 : 一般的なスマートフォンの使用環境温度は0～35℃、保管温度は-20～45℃程度

パリで熱波が起きる可能性



過去と将来の年間の熱波日数を比較した図。円が大きいほど熱波が強いことを示している。

Source: Vincent Viguié et al. (2020) Early adaptation to heat waves and future reduction of air-conditioning energy use in Paris. Environ. Res. Lett. 15 075006. <https://doi.org/10.1088/1748-9326/ab6a24>

パリでの訪問先



気候アカデミー：市民が気候変動について学び、交流する場

気候アカデミーは、元市庁舎を活用した、誰もが利用できる施設で、市民が気候変動について学び、考える場となっています。研修や子ども向け学習プログラム、ワークショップに加え、庭でランチを楽しんだり、イベントに参加したりするなど、市民が日常的に集い、交流できる場となっています。



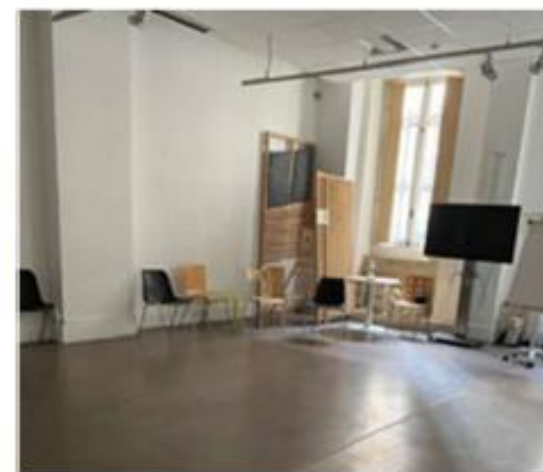
気候アカデミーでは毎日いろいろな催し物が行われている。



先生と見学にきた子供たち



屋上緑化の様子



対話に使える部屋



屋上の断熱工法の模型



屋上の観測値

シャルル・ボードレール小学校

シャルル・ボードレール小学校は、パリ市が推進するオアシス学校*の事例校であり、校庭の緑化や透水性舗装の導入等を通じて暑熱環境の改善を図っています。



前の道は消防車両以外は通行止めにされ、樹木が植えられている



明るい色に舗装された路面



通行止めの道路ではミストが設置されている。ボタンを押すと数秒ミストがでる。



小学校を上から見た以前の様子(google)。以前は車が通っていた

*オアシス学校プロジェクトは、アスファルトの校庭を緑や水辺のある涼しい空間に変え、子どもたちと地域住民を暑さから守る取組です。学校前の道路は車の通行を制限し、路面を白く塗ることで暑さを和らげています。当初は商店主などから反対もありましたが、対話を重ねながら現在の形となりました。

貨物駅や工場跡地を、多機能なグリーンインフラへ転換

クリシー・バティニョル・マルタン・ルター・キング公園

この公園は貨物駅の跡地に整備され、広さは東京ドーム約2.1個分です。池や水路は景観のためだけではなく、暑さ対策、洪水対策、生物多様性の保全を兼ね備えています。雨水を一時的に貯留する池や湿地は、大雨の際には洪水対策施設として機能し、普段は市民の憩いの場となっています。また、ビオトープや在来植物、多様な樹木・草地が整備され、鳥や昆虫、水生生物の生息環境が創出されています。私が訪れた際には、多くの大人が木陰や芝生でくつろぎ、子どもたちはスケートボードなどを楽しんでいました。



アンドレ＝シトロエン公園

この公園は、かつてシトロエン自動車工場があった跡地に整備されたものです



広さは約14ha（東京ドーム約3個分）です。広い芝生や運河、水景施設、温室、多様なテーマガーデンが配置され、工業地帯を緑豊かな都市公園へと再生した代表例です。



廃線を撤去するのではなく、都市の歴史として保存

廃線となった鉄道を撤去せず、線路を残したまま遊歩道として再生。都市の歴史を継承するとともに、緑地や生物の生息環境、市民の憩いの場を創出している。



廃線がそのまま保存され、鉄道の歴史を感じられる。



リサイクルショップから見た風景。廃線全体が緑の回廊として都市の中に続いている。このリサイクルショップでは、都市農園や在来植物を活用し、昆虫や鳥の生息環境を提供。アップサイクルもしている



線路を景観や緑の一部として活用し、人が楽しめる空間になっている。

自転車優先のインフラ整備や歩道の拡充

保護型自転車レーンの整備、自転車専用信号の設置、シェアサイクル「Vélib'」の普及により、自転車の利用が増加している。また、歩道も拡充され、車の制限速度は時速30kmとなっているため、安心して歩いたり自転車を利用したりできる街づくりが進められている。



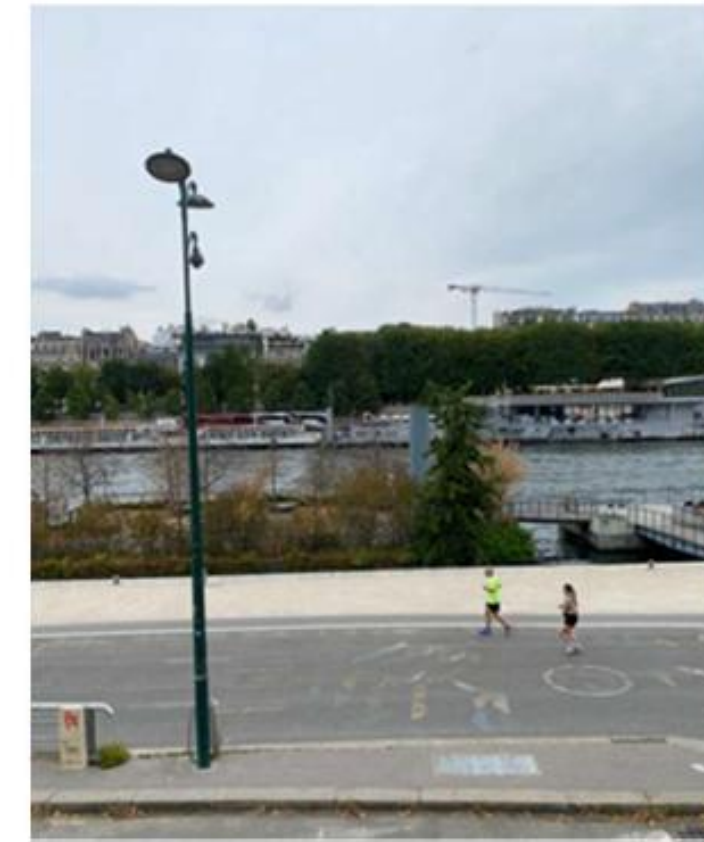
自転車道は車道と同程度の幅を確保。段差や縁石で車道と分離し、安全性を向上しているところもある。



自転車優先交差点



拡充されたリヨン駅前の歩道



セーヌ川岸を走る人たち

給水所やトイレ



1872年に設置が始まった
ウォレスの泉



散歩道にも水道が設置されている



給水所やミストが多数設置されている



道路わきにあるトイレと給水所

リサイクル、地産地消



ガラスびん回収コンテナ



旧鉄道駅舎を再利用したリサイクル・リユース施設



有機農産物を中心に、生産者が直接販売する市場



コンポスト（たい肥づくり）



どのような街にしたいですか

暑さに強いまち
水害に強いまち
生きものと共生するまち
市民とともにつくるまち



洪水対策

① 従来型（グレーインフラ）

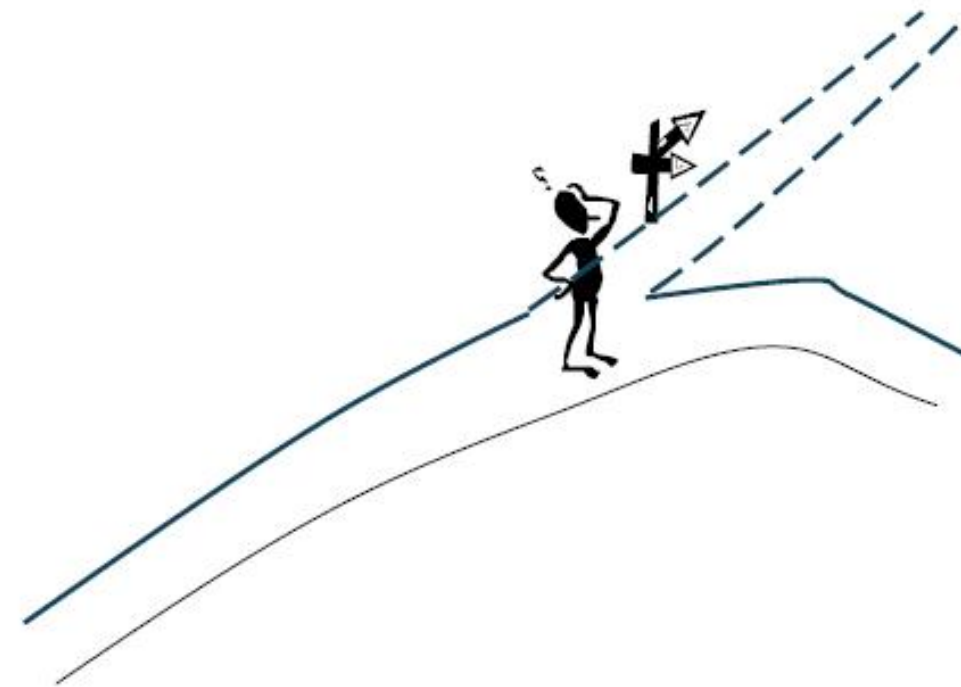
- ・大規模地下調節池
- ・河川改修
- ・下水道整備

② 自然を活かした対策（グリーンインフラ）

- ・雨庭
- ・樹木
- ・公園
- ・透水性舗装
- ・校庭・公園への雨水貯留

どう組み合わせますか？

どちらの方向に進んで いくのでしょうか



＼ ちょっとひと休みしましょう！ ／

≡ 10分間の休憩 ≡

リフレッシュして、
また後半も一緒に
がんばりましょう！



しっかりリフレッシュして、
後半の時間も充実させていきましょう！



時間になったら、こちらの席にお戻りください。



▶グループワーク

気候変動に適応した、
杉並の未来をAIで描い
てみよう！



グラウンドルールとは？

- ▶ グラウンドルールとは、みんなが安心して楽しく話し合うために、最初に決める約束ごとのことです。

グラウンドルール・お約束

お約束

- 相手に体を向けて話を聞き、うなずきや表情なども含めてコミュニケーションをとろう。
- お互いの意見を認め合おう。
- みんなで協力して話し合おう。



企画運営メンバー
が考えました！

ポイント

- 自分から話すことを意識し、考えたことは口にしよう。
- 話しやすい雰囲気になるよう、出た意見にリアクションするなど心がけよう。

これから、杉並の未来を考えていきます

みなさんは、3つのテーマのチームに分かれます。



2050年の杉並は、 どうなっているのでしょうか？

さあ、一緒に想像してみましょう。
みなさんの考えが、未来を変えるヒントになります！

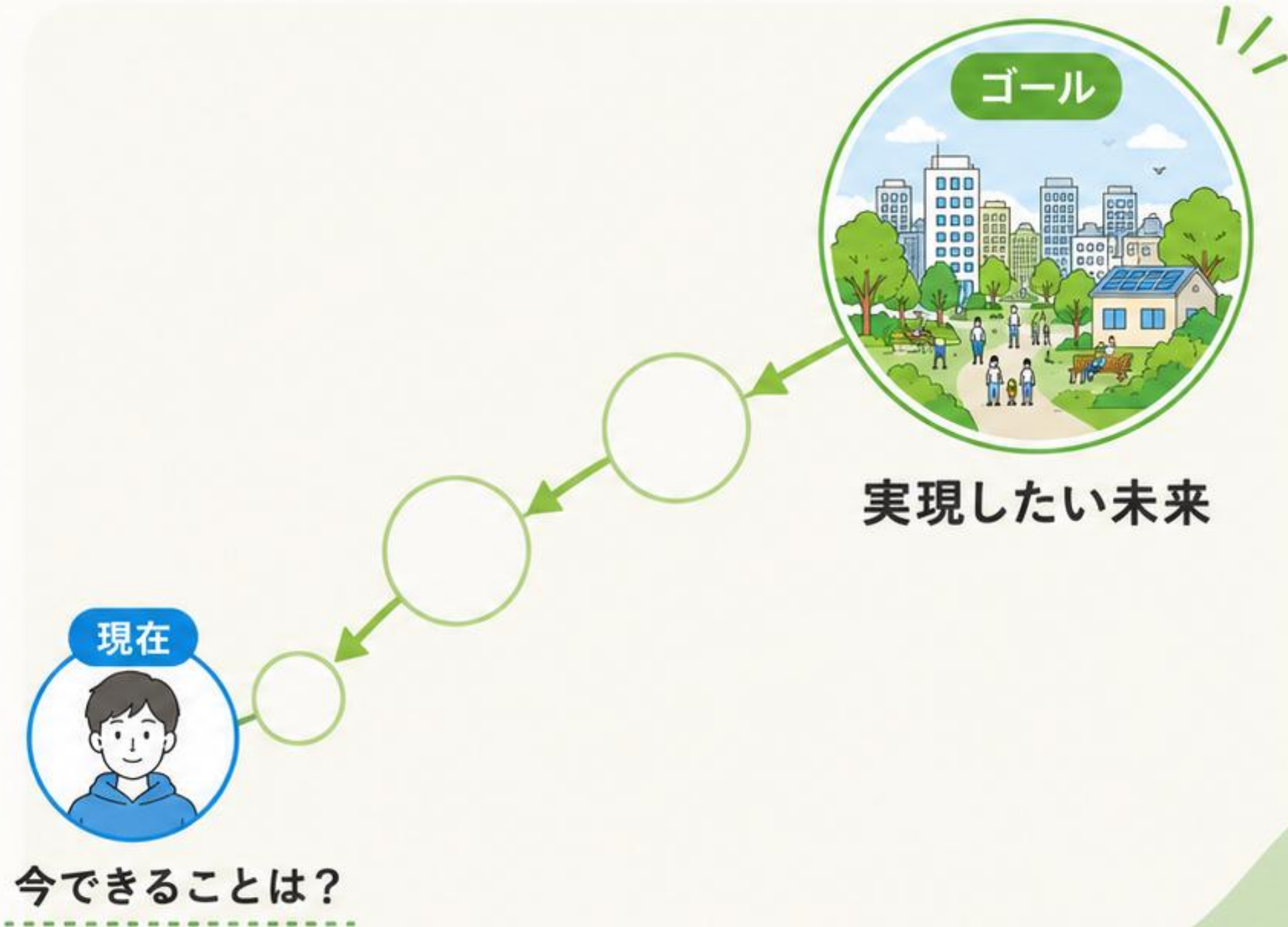


グループワークの目的：なんで未来を想像するのか？

実現したい未来の姿から考えると
今、やるべきことが見えてくる！



より良い未来への
一歩につなげよう！



ワークの**流れ**を確認しましょう!

みんなで**杉並の未来**を描こう

- 1** 適応策が成功した
2050年の杉並区について、
付箋を使って意見を出し合う



たくさんのアイデアを
出し合いましょう!

- 2** 出てきた意見を
指示書にまとめる



みんなの意見を整理して、
分かりやすくまとめよう!

- 3** 指示書を使ってAIで、
適応策が成功した2050年の
杉並区の未来を画像生成

→ もし時間があれば、**失敗した**
2050年の杉並区の未来も
画像生成してみよう



AIで2050年の杉並区の未来を
イメージしてみましょう!

各チームのテーマを決めたいと思います。

テーマは、こちらの **3つ** です。

① 暑さに負けない 杉並区

(2050年、猛暑が続く杉並区で、
みんなが安全・快適に暮らすには?)



② 大雨や洪水に強い 杉並区

(2050年、ゲリラ豪雨や台風が
増えても安心して暮らせるまちとは?)



③ 自然の力を活かす 杉並区

(2050年、緑や生きものを守りながら、
暑さや大雨にも強いまちをつくるには?)



ランダムチーム分けツールを使って振り分けます



適応策が成功した

2050年の杉並区はどんな様子か

考えてみよう！

☀ 暑さ対策

☁ 水害対策

🌳 自然との共生



各チームのテーマ(暑さ対策、水害対策、自然との共生)について、
思いつく意見を付箋に書いてどんどん書いていこう！



STEP①:「まちの状態」のイメージを出し合おう

▶ グループの「テーマ」を確認しよう

▶ テーマに沿って、「まちや人はどんな状態になっているか」を考え付箋に書こう

- ・たくさん出そう
- ・1人4枚くらい

▶ グループの中で話し合いながらまとめていこう

グループ

気候変動に適応した杉並の未来を描いてみよう！
気候変動に適応し、今よりもっと暮らしやすくなった2050年の杉並区はどんなまちになっているだろう？

テーマ：暑さに負けないまちって、どんなまち？

STEP①：「まちの状態」を付箋（ふせん）に書いて、貼り出そう！

暑い日に外出したくなるまちには、どんな工夫があるだろう？

緑や水辺はどんな働きをしているだろう？

みんなが安心して夏を過ごすために何があるだろう？

道路や公園はどうなっているかな？

≡ AIに対する指示書を作成しましょう。≡

1



手順にそって、みなさんがまとめた
意見を整理していきましょう。

2



テーブルファシリテーターの
指示に従ってください。

3



指示書ができたチームから、
実際に**画像生成**をしてみてください。

4



1度やってみて、調整したい点が出てきたら、
何度か**指示を出しながら画像を変えて**
いってください。

指示書(プロンプト)

みんなの意見



AIで
画像生成!



STEP②: AIで画像を作ってみよう！

画像をつくるためのAIへの指示書をつくろう

▶ 大きなワークシートから、画像に入りたい「まちや人はどんな状態なのか」の付箋をグループで話し合って移そう

グループ

STEP②: AIで画像を作ってみよう！

AI画像作成指示シート

まちや人はどんな状態？

杉並区のどこの場所？

Team Earth Hero
すぎなみ

▶ 画像の「設定」を決めよう

・場所

例えば...

どんな工夫
や対策が行
われている
かな？



話し合いのポイント

1

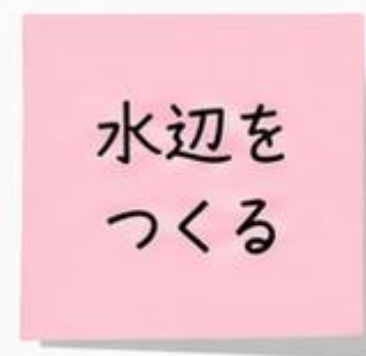
アイデアは質より量です。

思いつくことはなんでも書き出してみましょう。



2

付箋には1枚につき
1つのアイデアを書く
と見やすいと思います。



など

3

**みんなで協力して
話をすすめていきましょう。**

いろんな意見を尊重しながらすすめましょう。



AIを使うときの注意点

AIは、答えを出す
ものではないよ



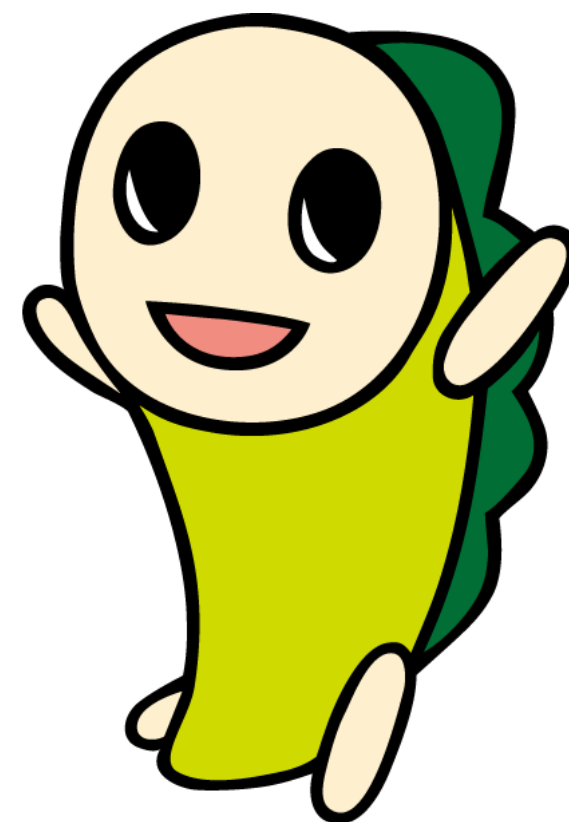
AIは答えを出す道具ではなく、アイデアを広げる道具！

グループワークの目的
は、完璧な画像をつくる
ことではないよ



大切なのは画像の出来栄ではなく、未来について考えること！

グループワーク スタート



適応策を実施した 杉並区の未来像を作りました!



次は、**同じテーマ、場所、季節**で、
適応策をまったく実施しなかった
2050年 杉並区の**未来像**の
画像を作ってみましょう。



作成した2050年の杉並区の未来像について、
“**適応策をまったく実施しなかった場合の**
2050年の杉並区の画像を生成して”
入力してみよう。



発表タイム!

みんなのアイデアをシェアしよう!



各チーム
2分程度で
お願いします!



2050年の杉並区の未来像

テーマ: 災害対策



ポイント

- ✓ 水害に強いまち
- ✓ 避難しやすい環境
- ✓ 自然と共生する街

聞く人も
リアクションや
メモで参加しよう!



AIで絵を描いた際に特に大切にしたいポイントを3つ以内で教えてください。



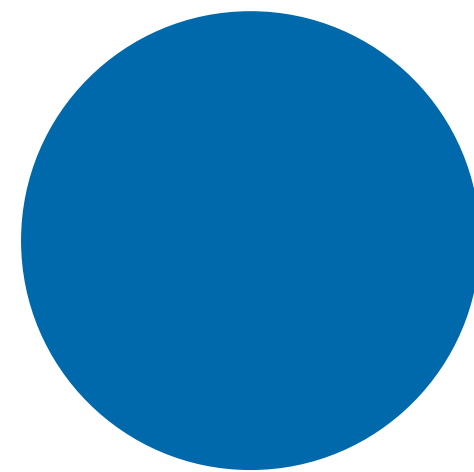
私たちのグループワークは、なんのテーマで考えたのかを教えてください。



実施しなかった未来像まで描けたチームは、
それがどんな世界であったかも教えてください。

A large orange rounded rectangle and a yellow rounded rectangle are positioned in the upper left and bottom left corners of the slide.

おわりに



杉並区温暖化対策担当課長
重田 拓郎

📢 次回の開催はこちら!

今回は

8月15日(土)
8:30 ~ 11:30



またみんなで、楽しく学び・考え・アイデアを
カタチにしていきましょう!



最後にアンケートのご記入にご協力ください。
みなさんにまたお会いできることを
楽しみにしています。
お気をつけてお帰りください。

📢 次回はフィールドワークがあります!
持ち物の準備をお願いします。



水筒



筆記用具



必要に応じて
着替え